

平成29年度  
事業報告書



学校法人 行吉学園

# 目次

建学の精神・教育綱領	1
はじめに	2
<b>I 法人の概要</b>	
1 法人の沿革	3
2 学校・学部・学科等の定員と現員（平成29年5月1日現在）	4
3 学生・園児数の推移（過去5年間）	5
4 教職員数の推移（過去5年間）	5
5 役員の概要（平成29年7月1日現在）	6
6 理事会・評議員会の開催状況（平成29年度）	7
7 施設等の状況（平成30年3月31日現在）	9
8 法人組織構成図（平成29年4月1日現在）	10
<b>II 事業の概要</b>	
神戸女子大学・神戸女子短期大学	
■教育活動	11
1 卒業者・修了者数の状況	9
2 国家試験の受験・合格状況	10
3 授業評価の取り組み	11
4 シラバス作成の実績	12
5 成績評価の見直し	13
6 教育課程の見直し	14
7 CAP制の運用	15
8 障がい者学修支援	
9 全学共通教育	
10 単位互換制度の推進	
11 「ポーアイ教養科目」	
12 ライブラリー・コモنزの活用	
13 国際交流事業の推進	
14 図書館の利用状況	
15 教室等の利用時間の拡大	
■研究活動	17
1 研究活動の状況	4
2 科学研究費助成事業の採択	5
3 産学連携活動の取り組み	
4 その他外部資金の採択状況	
5 古典芸能研究センター	
■地域連携活動・社会貢献活動	18
1 社会貢献の概要	5
2 須磨区との地域連携	6
3 中央区等との地域連携	7
4 ポートアイランド4大学の連携	
5 ボランティア活動	
6 公開市民講座の開催	
7 オープンカレッジの開講	
■学生支援活動	20
1 奨学金の採択状況	4
2 学生表彰の状況	5
3 学生寮等の利用状況	6
4 健康推進への取り組み	
5 教職支援	
6 就職支援	
■自己点検・評価への取り組み	24
■学生募集	24
■施設整備	25
1 施設の充実	3
2 情報処理機器の整備等	
3 防災への取り組み	

# 目 次

---

■管理運営	26
1 常任理事会の開催状況	4 教職員表彰の実施
2 神戸女子大学文学部神戸国際教養 学科の名称変更	5 収益的事業の展開
3 学園広報活動の展開	6 教育後援会との交流強化
神戸女子大学附属高倉台幼稚園	27
1 園児数	3 地域との関わり
2 子育て支援	4 施設の充実
Ⅲ 財務の概要	28
1 平成29年度補正予算の編成	7 活動区分資金収支計算書
2 平成30年度予算編成方針の策定	8 貸借対照表
3 資金運用活動の実績	9 平成28・29年度事業活動収支計算書の主要財務比率
4 平成29年度決算の概要	10 事業活動収支の経年推移
5 資金収支計算書	11 学校法人会計基準改正に伴う新財務比率表
6 事業活動収支計算書	

## — 学校法人行吉学園 建学の精神・教育綱領 —

### 建学の精神

本学園の教育は、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする有為な女性を育成するにある。そのためには、人格の完成をめざし、平和的な国家および社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたっとび勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた、心身ともに健康な国民の育成に、力をつくすにある。

### 教育綱領

- 学術の研究を通して、人生社会に対する広い視野と深い洞察とを身につけ、識見高く、心情豊かな女性を育てる。
- 個性の伸長をはかり、社会に貢献しうる人材を育てる。
- 勤労を愛し、義務と責任を重んじ、自律的に行動する態度を養う。
- 宗教的情操を培い、謙虚にして愛情深く、よく苦難に耐え、常に信念に生きる女性を育てる。
- 明朗にして礼節あり、健康にして柔軟な心身の持ち主となり、よく世代を導きうる女性を育てる。

## はじめに

本学園では、建学の精神、教育綱領に基づき、自立心・対話力・創造性を培う教育をめざし、平成 29 年度は、中長期の方針である「社会的評価の引上げに向けた取り組み」、「教育・研究基盤の再構築と学修環境の充実、キャリア保障力の向上」、「持続的発展を支えるための財政基盤の確立」を推進し、更なる 18 歳人口の減少期を見据え、経営体質をより一層強化していくための様々な施策を展開してまいりました。

「社会的評価引上げに向けた取り組み」では、設置から 3 年目を迎えた看護学部の円滑な学年進行を図るとともに、専門看護師及びその教育機関の数が僅かである現状を踏まえ、新たに神戸女子大学大学院看護学研究科の設置を決定し、平成 31 年度の開設に向けた準備を始動させています。また、文学部では「神戸国際教養学科」の学科名称を変更し、平成 30 年度から「国際教養学科」として、より幅広い教養と国際社会で活躍できる国際教養人の育成をめざすこととしています。

「教育・研究基盤の再構築」においては、外部資金の獲得強化に向け教育・研究活動の支援体制を整備するとともに、文部科学省の教員養成制度改革に伴う教職課程の整備に向け、カリキュラムの改編や教員個々の研究業績の再検証を行う等、申請に向けた取り組みを展開しました。また、若手教員の人材養成を目的として、新たに教育研究業務に従事する任期のない講師職や助手の研究業務への従事を確立する等、教員の教育・研究環境を改善しています。

「学修環境の充実」では、図書館に設置されているライブラリー・コモンズを活用してアクティブ・ラーニングを取り入れた教育活動等が積極的に行われており、グループ学習やプレゼンテーション等、学生の主体的な学習の場としても利用されています。また、情報機器をはじめとする施設設備面の計画的な更新や学内で意欲的に学習する学生への対応としてポートアイランドキャンパス内の夜間の施設利用時間を延長する等、学修環境の整備、改善を進めてまいりました。

「キャリア保障力の向上」については、教職員が一体となった支援体制を継続しており、国家試験対策、各種の資格取得、就職先の新規開拓等に取り組み、就職率、進路決定率ともに高い水準を維持しています。昨今の良好な就職環境の継続が見込まれていますが、今後の社会情勢の動向等に注視しつつ、引き続き、きめ細やかな支援に努めてまいります。

学園運営の基幹となる「持続的発展に向けた財政基盤の確立」では、「安定的財政基盤の確保」を目標と位置づけ、単年度ベースでの収支均衡の体質への回復を基本として収支改善に向けた取り組みを展開してまいりました。収入面では、学生生徒等納付金収入や退職給与財団交付金の増加等により、事業活動収入は 6,007 百万円と前年比 326 百万円の増加となる一方、支出面である事業活動支出は 6,143 百万円と前年比 85 百万円の減少となっています。看護学部開設時からの進行年次であり、経費の負担が先行していますが、設置時における財政計画に沿う状況で推移しており、完成年度以降に収支の改善が見込まれ、比較的安定した財政状況にあると考えております。また、当年度においては、大学院の学納金を改定しており、平成 31 年度以降、財政面への効果も期待されるところです。

大学運営を取り巻く環境がますます厳しさを増す状況の中で、教育の特色や質的保証、就職状況等は、存立基盤そのものに直結し、教職員共通の現状認識に基づく、総合的な変革や施策の推進が将来に向け求められています。当年度においては、これらの変革や施策を確実に実現していくための方策として、学園のめざすべき方向を明確に指し示す「中期目標・中期計画」の策定に向けた取り組みを始動させています。また、大学と短期大学の一体的運用をはじめ、学長がリーダーシップを発揮するためのガバナンス強化や支援体制を構築する等、特に将来に向けた運営基盤の整備、強化に注力してまいりました。

本学園では、今後も教育研究の質的向上と財政基盤の安定による健全な運営に努め、看護学研究科の設置等によりさらに高まる総合力を活用して、地域・社会から求められる大学・短期大学をめざして、魅力ある女子教育を展開してまいります。

平成 30 年 5 月

学校法人行吉学園  
理事長 行 吉 誠 之

# I 法人の概要

## 1 法人の沿革

昭和 15 年 11 月	神戸新装女学院を設立
〃 21 年 9 月	財団法人神戸新装女学院に組織変更
〃 25 年 4 月	神戸女子短期大学服装科を開設
〃 26 年 2 月	学校法人行吉学園に組織を変更
〃 41 年 4 月	神戸女子大学家政学部を開設
〃 44 年 4 月	神戸女子大学文学部を開設
〃 48 年 4 月	神戸女子大学附属高倉台幼稚園を開設
〃 59 年 4 月	神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻を開設
〃 61 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科日本文学専攻、英文学専攻、日本史学専攻を開設
〃 62 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科教育学専攻を開設
平成元年 4 月	神戸女子大学瀬戸短期大学を開設
〃	神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻及び文学研究科教育学専攻に博士課程を開設
〃 3 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科日本史学専攻に博士課程を開設
〃 4 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科英文学専攻に博士課程を開設
〃	法人本部及び神戸女子短期大学を移転
〃 5 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科日本文学専攻に博士課程を開設
〃 7 年 4 月	神戸女子大学大学院家政学研究科生活造形学専攻を開設
〃 8 年 4 月	神戸女子大学文学部に社会福祉学科を開設
〃	神戸女子短期大学に総合生活学科・食物栄養学科を開設
〃	神戸女子大学瀬戸短期大学に生活専攻・食物栄養専攻を設置
〃	神戸女子短期大学初等教育科を初等教育学科に名称変更
〃	神戸新装学院を廃止
〃 9 年 4 月	神戸女子大学大学院家政学研究科生活造形学専攻に博士課程を開設
〃 10 年 6 月	神戸女子短期大学服装科・家政科を廃止
〃 11 年 4 月	神戸女子大学瀬戸短期大学英語科を文化コミュニケーション科に名称変更
〃 13 年 4 月	神戸女子大学瀬戸短期大学文化コミュニケーション科の募集停止
〃 14 年 7 月	神戸女子大学瀬戸短期大学文化コミュニケーション科の廃止認可
〃 15 年 4 月	神戸女子大学瀬戸短期大学生活科の募集停止
〃	神戸女子大学学校教育学専攻科の設置
〃 16 年 5 月	神戸女子大学瀬戸短期大学の廃止認可
〃 18 年 4 月	神戸女子大学健康福祉学部健康福祉学科、文学部日本語日本文学科、文学部英語英米文学科、文学部神戸国際教養学科を設置
〃	神戸女子大学文学部文学科、文学部社会福祉学科の募集停止
〃	神戸女子短期大学専攻科保育専攻を設置
〃 21 年 4 月	神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科を設置、同学部健康福祉学科を社会福祉学科に、神戸女子短期大学初等教育学科を幼児教育学科に名称変更
〃 23 年 4 月	社会福祉法人神女きずな会を設立し、神女中山手保育園を開設
〃 27 年 4 月	神戸女子大学看護学部看護学科を開設
〃 28 年 4 月	神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻を開設

2 学校・学部・学科等の定員と現員（平成29年5月1日現在）

（単位：人）

区分	学部・学科等		入学定員	収容定員	現員	摘要	
神戸女子大学大学院 (昭和59年4月設置)	家政学研究所 (博士課程)	食物栄養学専攻	前期	8	16	8	
			後期	2	6	4	
		生活造形学専攻	前期	6	12	3	
			後期	2	6	4	
		(小計)		18	40	19	
	文学研究科 (博士課程)	日本文学専攻	前期	4	8	0	
			後期	2	6	0	
		英文学専攻	前期	4	8	2	
			後期	2	6	1	
		日本史学専攻	前期	4	8	4	
			後期	2	6	2	
		教育学専攻	前期	4	8	1	
	後期		2	6	2		
	(小計)		24	56	12		
健康栄養学研究所 (修士課程)	健康栄養学専攻	4	8	5	平成28年4月開設		
(合計)		46	104	36			
神戸女子大学 (昭和41年4月設置)	家政学部	家政学科	80	320	354		
		管理栄養士養成課程	160	600	634	3年次編入定員含む。	
		(小計)	240	920	988		
	文学部	日本語日本文学科	60	240	241		
		英語英米文学科	60	240	230		
		神戸国際教養学科	40	160	188		
		史学科	60	240	225		
		教育学科	165	660	688		
		(小計)	385	1,540	1,572		
	健康福祉学部	社会福祉学科	80	320	281		
		健康スポーツ栄養学科	80	260	274		
		(小計)	160	580	555		
	看護学部	看護学科	80	240	266	平成27年4月開設	
	学校教育学専攻科		15	15	2		
(合計)		880	3,295	3,383			
神戸女子短期大学 (昭和25年4月設置)	幼児教育学科	100	200	188			
	総合生活学科	120	240	185			
	食物栄養学科	120	260	189			
	合計	340	700	562			
神戸女子大学附属高倉台幼稚園 (昭和48年4月設置)		100	200	169			
総計		1,366	4,299	4,150			

\*幼稚園の入学定員欄は募集可能人員を示す。

### 3 学生・園児数の推移（過去5年間）

（単位：人）

区 分		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
大 学 院	家政学研究科	博士前期	26	30	17	13	11
		博士後期	10	8	7	6	8
	文学研究科	博士前期	11	14	8	5	7
		博士後期	5	6	4	5	5
	健康栄養学研究科	修士課程	—	—	—	4	5
	合 計	博士前期	37	44	25	22(修士含む)	23(修士含む)
	博士後期	15	14	11	11	13	
大 学	家 政 学 部	1,041	1,022	980	976	988	
	文 学 部	1,795	1,756	1,662	1,574	1,572	
	健 康 福 祉 学 部	586	589	584	548	555	
	看 護 学 部	—	—	86	178	266	
	学校教育学専攻科	4	2	3	1	2	
	合 計	3,426	3,369	3,315	3,277	3,383	
短期大学	幼 児 教 育 学 科	240	214	209	207	188	
	総 合 生 活 学 科	225	232	230	223	185	
	食 物 栄 養 学 科	301	267	253	232	189	
	合 計	766	713	692	662	562	
高 倉 台 幼 稚 園		264	256	213	196	169	

### 4 教職員数の推移（過去5年間）

（単位：人）

区 分		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
専任教員	神 戸 女 子 大 学	147	147	169	178	179
	神 戸 女 子 短 期 大 学	43	43	41	39	40
	高 倉 台 幼 稚 園	10	10	7	7	7
	計	200	200	217	224	226
専任職員	法 人 本 部	9	9	9	9	9
	神 戸 女 子 大 学	67	68	66	69	70
	神 戸 女 子 短 期 大 学	19	17	16	14	13
	高 倉 台 幼 稚 園	3	3	2	3	3
	計	98	97	93	95	95
合 計		298	297	310	319	321

\*（平均年齢）教員 52.7 才・職員 47.9 才、（平均勤続）教員 13.1 年、職員 16.7 年 [平成 29 年 5 月 1 日現在]



## 5 役員概要 (平成 29 年 7 月 1 日現在)

### (1) 理事 ※1

[定数：8名 任期：4年]

区分	氏名	常勤・非常勤	選任区分	摘要
理事長	行吉 誠之	常勤	学識経験者	昭和 54 年 6 月 理事就任 平成 18 年 4 月 理事長就任
副理事長	行吉 宜孝	常勤	評議員	平成 22 年 6 月 理事就任 平成 27 年 6 月 副理事長就任
理事	中島 實	常勤	神戸女子大学長	平成 25 年 4 月 理事就任
	今井 修平	常勤	評議員	平成 18 年 4 月 理事就任
	長瀬 荘一	常勤		平成 18 年 6 月 理事就任
	福岡 真也	常勤		平成 26 年 6 月 理事就任
	根岸 成直	非常勤	学識経験者	平成 18 年 6 月 理事就任
	加藤 隆久	非常勤		平成 11 年 1 月 理事就任

### (2) 監事 ※2

[定数：3名 任期：4年]

区分	氏名	常勤・非常勤	摘要
監事	芳木 伸吉	非常勤	平成 18 年 6 月就任
	亀井 尚也	非常勤	平成 23 年 5 月就任
	横田 成樹	非常勤	平成 26 年 6 月就任

※1 選任区分は寄附行為第 6 条第 1 号～第 3 号において規定

※2 寄附行為第 7 条において規定

## 6 理事会・評議員会の開催状況（平成29年度）

### (1) 理事会

回数	開催 年月日	主な協議事項	出席状況 (定数8名)		
			出席	欠席	計
1	5月26日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度事業報告について</li> <li>・平成28年度決算について</li> </ul>	8	0	8
2	5月26日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学部神戸国際教養学科の名称変更について</li> <li>・平成29年度賞与支給率について</li> <li>・平成29年度入学試験の結果及び平成30年度入学試験等の概要について（報告）</li> </ul>	8	0	8
3	9月8日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸女子大学大学院看護学研究科の設置について</li> <li>・神戸女子大学大学院の学納金の改定について</li> <li>・神戸女子大学文学部神戸国際教養学科の名称変更に伴う学則の一部改正について</li> <li>・学校法人行吉学園寄附行為の一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 資産総額の変更登記の期限の変更（文部科学大臣の認可の日から施行）</li> <li>(2) 神戸国際教養学科の名称変更（平成30年4月1日から施行）</li> <li>(3) 看護学研究科の設置（文部科学大臣の認可の日から施行）</li> </ol> </li> <li>・行吉学園非常勤講師の就業に関する規程等の一部改正について</li> <li>・神戸女子大学附属高倉台幼稚園における満3歳児入園の実施及び園則の一部改正について</li> <li>・行吉学園学生寮規程の一部改正について</li> <li>・土石流対策のための砂防堰堤設置工事への神戸女子大学用地（裏山）の提供について（報告）</li> </ul>	7	1	8
4	12月22日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸女子大学大学院看護学研究科設置に伴う学則の一部改正について</li> <li>・神戸女子大学大学院の学納金改定に伴う学則の一部改正について</li> <li>・行吉学園講師規程、特任教員規程、助手規程及び助教規程の一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行吉学園講師規程の一部改正</li> <li>(2) 行吉学園特任教員規程の一部改正</li> <li>(3) 行吉学園助手規程の一部改正</li> <li>(4) 行吉学園助教規程の一部改正</li> </ol> </li> <li>・行吉学園個人研究費規程及び研究旅費規程の一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行吉学園個人研究費規程の一部改正</li> <li>(2) 行吉学園研究旅費規程の一部改正</li> </ol> </li> <li>・行吉学園神戸女子大学及び神戸女子短期大学の教員の任期に関する規程の制定について</li> <li>・平成30年度推薦入試等の状況について（報告）</li> </ul>	7	1	8
5	3月23日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度補正予算について</li> <li>・平成30年度事業計画について</li> <li>・平成30年度予算について</li> <li>・学則の一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 神戸女子大学学則の一部改正</li> <li>(2) 神戸女子大学大学院学則の一部改正</li> <li>(3) 神戸女子短期大学学則の一部改正</li> <li>(4) 神戸女子大学看護学部の定員変更に伴う学則の一部改正</li> </ol> </li> <li>・神戸女子大学事務組織規程の一部改正について</li> <li>・神戸女子大学用地の一部譲渡について</li> <li>・教職員の異動（退職者・採用予定者）について（報告）</li> <li>・平成30年度入学試験の結果について（報告）</li> </ul>	8	0	8

## (2) 評議員会

回数	開催 年月日	主な協議事項	出席状況 (定数20名)		
			出席	欠席	計
1	5月26日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学部神戸国際教養学科の名称変更について</li> <li>・ 平成29年度賞与支給率について</li> <li>・ 平成28年度事業報告について(報告)</li> <li>・ 平成28年度決算について(報告)</li> <li>・ 平成29年度入学試験の結果及び平成30年度入学試験等の概要について(報告)</li> </ul>	16	4	20
2	9月8日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸女子大学大学院看護学研究科の設置について</li> <li>・ 神戸女子大学大学院の学納金の改定について</li> <li>・ 神戸女子大学文学部神戸国際教養学科の名称変更に伴う学則の一部改正について</li> <li>・ 学校法人行吉学園寄附行為の一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 資産総額の変更登記の期限の変更(文部科学大臣の認可の日から施行)</li> <li>(2) 神戸国際教養学科の名称変更(平成30年4月1日から施行)</li> <li>(3) 看護学研究科の設置(文部科学大臣の認可の日から施行)</li> </ol> </li> <li>・ 行吉学園非常勤講師の就業に関する規程等の一部改正について</li> <li>・ 神戸女子大学附属高倉台幼稚園における満3歳児入園の実施及び園則の一部改正について</li> <li>・ 行吉学園学生寮規程の一部改正について</li> <li>・ 土石流対策のための砂防堰堤設置工事への神戸女子大学用地(裏山)の提供について(報告)</li> </ul>	17	3	20
3	12月22日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸女子大学大学院看護学研究科設置に伴う学則の一部改正について</li> <li>・ 神戸女子大学大学院の学納金改定に伴う学則の一部改正について</li> <li>・ 行吉学園講師規程、特任教員規程、助手規程及び助教規程の一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行吉学園講師規程の一部改正</li> <li>(2) 行吉学園特任教員規程の一部改正</li> <li>(3) 行吉学園助手規程の一部改正</li> <li>(4) 行吉学園助教規程の一部改正</li> </ol> </li> <li>・ 行吉学園個人研究費規程及び研究旅費規程の一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行吉学園個人研究費規程の一部改正</li> <li>(2) 行吉学園研究旅費規程の一部改正</li> </ol> </li> <li>・ 行吉学園神戸女子大学及び神戸女子短期大学の教員の任期に関する規程の制定について</li> <li>・ 平成30年度推薦入試等の状況について(報告)</li> </ul>	19	1	20
4	3月23日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度補正予算について</li> <li>・ 平成30年度事業計画について</li> <li>・ 平成30年度予算について</li> <li>・ 学則の一部改正について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 神戸女子大学学則の一部改正</li> <li>(2) 神戸女子大学大学院学則の一部改正</li> <li>(3) 神戸女子短期大学学則の一部改正</li> <li>(4) 神戸女子大学看護学部定員変更に伴う学則の一部改正</li> </ol> </li> <li>・ 神戸女子大学事務組織規程の一部改正について</li> <li>・ 神戸女子大学用地の一部譲渡について</li> <li>・ 教職員の異動(退職者・採用予定者)について(報告)</li> <li>・ 平成30年度入学試験の結果について(報告)</li> </ul>	18	2	20

## 7 施設等の状況（平成30年3月31日現在）

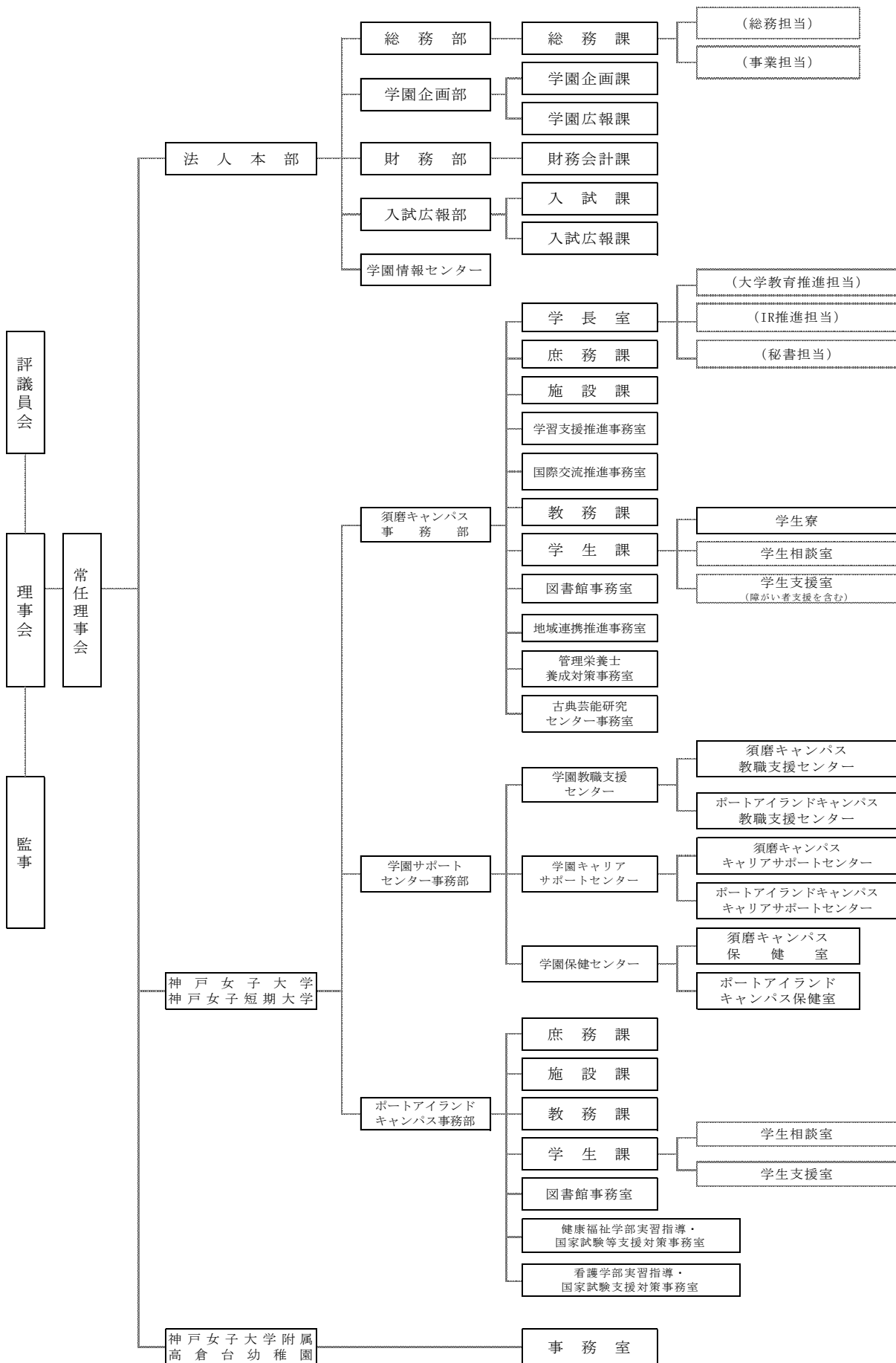
### (1) 土地

区分	所在地	面積 (㎡)	摘要
須磨キャンパス	兵庫県神戸市須磨区	145,623.61	神戸女子大学専用
P I キャンパス	兵庫県神戸市中央区	24,524.84	神戸女子短期大学専用
三宮キャンパス	兵庫県神戸市中央区	4,931.00	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
高倉台幼稚園	兵庫県神戸市須磨区	2,566.58	高倉台幼稚園専用
小計		177,646.03	
寄宿舍(行幸寮・天神寮)	兵庫県神戸市須磨区	3,128.13	神戸女子大学専用
セミナーハウス	米国ハワイ州ホノルル	683.65	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
職員宿舎	兵庫県神戸市須磨区	382.34	
合計		181,840.15	

### (2) 建物

区分		面積 (㎡)	摘要
須磨キャンパス (兵庫県神戸市須磨区)	校舎	26,631.74	神戸女子大学専用
	体育館	3,460.50	
	図書館	6,081.45	
	実験室	57.60	
	守衛室	68.76	
	クラブ室	986.85	
	食堂	2,115.98	
	会館	246.80	
小計		39,649.68	
P I キャンパス (兵庫県神戸市中央区)	校舎	10,855.36	神戸女子大学専用
		23,954.49	神戸女子短期大学専用
	守衛室	47.93	
	体育館	2,334.04	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
小計		37,191.82	
三宮キャンパス (兵庫県神戸市中央区)	校舎(体育館を含む)	7,085.46	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
高倉台幼稚園 (兵庫県神戸市須磨区)	校舎	1,398.61	高倉台幼稚園専用
寄宿舍(行幸寮・天神寮) (兵庫県神戸市須磨区)		4,412.56	神戸女子大学専用
セミナーハウス (米国ハワイ州ホノルル)		1,074.67	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
職員宿舎 (兵庫県神戸市須磨区)		436.64	
合計		91,249.44	

8 法人組織構成図（平成29年4月1日現在）



## II 事業の概要

### II-1 神戸女子大学・神戸女子短期大学

#### ■教育活動

##### 1 卒業生・修了者数の状況

平成29年度（9月卒業を含む）に所定の課程を修了し、卒業・修了した学生は以下のとおりである。

（単位：名）

区 分	学部・学科等	前 期	後 期	計	
神戸女子大学大学院	家政学研究科 (博士課程)	食物栄養学専攻	6	0	6
		生活造形学専攻	1	0	1
		(小計)	7	0	7
	文学研究科 (博士課程)	日本文学専攻	0	0	0
		英文学専攻	2	0	2
		日本史学専攻	0	0	0
		教育学専攻	1	0	1
		(小計)	3	0	3
	健康栄養学研究科 (修士課程)	健康栄養学専攻	4	—	4
		(合計)	14	0	14
神戸女子大学	文 学 部	日本語日文学科			54
		英語英米文学科			58
		神戸国際教養学科			53
		史 学 科			59
		教 育 学 科			177
		(小計)			401
	健康福祉学部	社会福祉学科			72
		健康スポーツ栄養学科			65
		(小計)			137
	家 政 学 部	家 政 学 科			95
		管理栄養士養成課程			147
		(小計)			242
		学校教育学専攻科			2
	(合計)			782	
神戸女子短期大学	総合生活学科			97	
	食物栄養学科			95	
	幼児教育学科			90	
	(合計)			282	

## 2 国家試験の受験・合格状況

平成 29 年度における国家試験の受験合格状況は、以下のとおりで、いずれも高い合格率となった。

試験区分	年度	受験者	合格者	合格率	全国平均合格率
管 理 栄 養 士	平成 29 年度	142 名	136 名	95.8%	(60.8%)
	平成 28 年度	149 名	138 名	92.6%	(54.6%)
	平成 27 年度	152 名	139 名	91.4%	(44.7%)
社 会 福 祉 士	平成 29 年度	48 名	29 名	60.4%	(30.2%)
	平成 28 年度	57 名	32 名	56.1%	(25.8%)
	平成 27 年度	47 名	29 名	61.7%	(26.2%)
精神保健福祉士	平成 29 年度	5 名	4 名	80.0%	(62.9%)
	平成 28 年度	6 名	5 名	83.3%	(62.0%)
	平成 27 年度	5 名	4 名	80.0%	(61.6%)

## 3 授業評価の取り組み

神戸女子大学 FD・SD 委員会及び神戸女子短期大学 FD・SD 委員会が、以下の方式により実施した。

### (1) 授業アンケート

大学及び短期大学において、学生の学修状況、満足度、理解度及び施設・設備に関する要望を把握するため、原則として全開講科目を対象に匿名性を担保した web 入力方式により前・後期に各 1 回実施している。集計結果は、学内ポータルサイトよりフィードバックされている。

### (2) 授業公開

大学においては、教員相互のピアサポートによる授業技術の向上を目的として、全開講科目を対象に実施しており、今年度は、アクティブラーニングをテーマとして実施した。短期大学においては、教員間の授業公開については、実施状況を継続的、組織的に把握するため、IT システムを構築して実施した。

### (3) 自己点検報告書

大学においては、「授業アンケート」の結果も参考に教員が自らの授業を省察する目的で作成し、FD・SD 委員会に提出することを義務付けている。また、学生に対する教育の質保証に対する取り組みの可視化を目指し、自由記載欄の内容を集計・整理したうえで教授会に提出して教員間で共有した。

短期大学においては、授業アンケート等については、学生の授業アンケートへの回答率を高めることを第一の目的に、IT システムやアンケートの内容を見直し、前期は「(学習成果に関する) 授業アンケート」、「(教員による) 授業アンケートに対する評価」、「(授業の) 形成的評価に関する FD アンケート」の 3 つの調査を、後期は「形成的評価に関する FD アンケート」以外の 2 つの調査を実施した。目標とした学生の回答率は、平成 29 年度前期におい

ては上昇傾向を認めたが、今後の課題も抽出された。

また、年度末には、授業改善の取り組みに関する内容として、神戸女子大学 FD・SD 委員会統括責任者による講演に加え、委員会から授業アンケートの結果を教員にフィードバックした。

## 4 シラバス作成の実績

大学においては、文部科学省、厚生労働省より指定された授業内容等に沿ってシラバスを作成しており、教務委員による点検を経た後に、ホームページで公開している。なお、学生については学内ポータルサイトから閲覧することができる。

短期大学においては、シラバス作成にあたり、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに沿った教育内容、到達目標の明確化及び質的向上を図り、全科目について各学科、関係委員及び教務委員会における組織的な点検を行った。大学と同様にシラバスはホームページで公開しており、学生は学内ポータルサイトにより閲覧が可能である。

## 5 成績評価の見直し

大学においては、教育の質保証を基に教育課程の体系化の一環として、成績評価基準の一つである GPA (Grade Point Average) 制度を平成 26 年度入学生より導入し運用している。また、平成 28 年度より、GPA 値 1.5 未満の学生について学科に情報提供を行い、学修指導等に活用している。

短期大学においては、学期毎に教授会へ学科別の GPA 分布を報告している。成績優秀者の表彰及び GPA 値 2.0 未満の学生を学科に情報提供するなど学修支援等に活用している。

## 6 教育課程の見直し

教育課程の見直しとして、各学科の授業科目とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを見直し、整合性について検討した。また、授業科目の順序性を明確にするためカリキュラムマップを作成し、ホームページで公開した。

## 7 CAP制の運用

大学では、平成20年度入学生より、それぞれの学年で適切に授業を履修し、履修する科目の予習、復習や効果的に学習が行えるように履修登録単位数の制限を設けており、健康スポーツ栄養学科では、平成30年度入学生から履修制限を58単位から54単位に変更している。また、短期大学においては短期大学設置基準を遵守した履修制度に関する改善策として、CAP制（履修登録可能な単位数の上限制度）を導入し、運用している。

## 8 障がい者学修支援

障がいのある学生の受け入れに関する特別支援委員会を中心として継続的に学修等の支援に取り組んでいる。平成29年度は、新たにP I キャンパスに特別支援委員会を設置して、視覚障がい学生の受け入れに向け、学修支援機器等の整備を行った。

## 9 全学共通教育

主な取り組みは以下のとおりである。

- (1) 看護学部における全学共通教養科目の円滑な実施
- (2) 基幹科目中、基礎Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを中心とする「基礎およびキャリア関連科目」の再編、拡充  
特に新規非常勤雇用による非常勤講師体制の再編
- (3) 日本語教育の充実
- (4) 基礎学力レポートの入学生全員への実施（3回生実施に向けた準備）
- (5) 全学共通教養科目の永続的な運営のための組織、制度再編の検討
- (6) 入学前 E-Learning の入学後における継続的实施
- (7) ホームページの刷新

## 10 単位互換制度の推進

- (1) ポートアイランド4大学連携単位互換制度  
41科目を開設し、学問領域も多分野にわたっており、4大学間における教育交流の契機となっている。
- (2) 大学コンソーシアムひょうご神戸単位互換事業  
「大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間の単位互換事業に関する包括協定書」に基づき、平成24年度より単位互換事業に参加している。平成29年度は、単位互換事業の開放科目を集中

科目及び地域に特化した科目に限定する方針であったため、本学から提供する科目はなかった。

### (3) 教員養成高度化システムモデルの構築・発信

単位互換の推進県内6大学との連携事業として、平成29年度は本学より「日本史学特論Ⅲb」及び「栄養学特論」の2科目を提供し、兵庫教育大学の大学院生3名が遠隔講義システムを利用して「日本史学特論Ⅲb」を受講した。

## 11 「ポーアイ教養科目」

平成20年度に文部科学省より採択された「戦略的  
大学連携支援事業」における取り組みの一環として、「ポーアイ教養科目」10科目を立ち上げ、平成22年度より開設しており、正規科目に位置付けられている。平成29年度は4大学で延べ132名の学生（うち神戸女子大学14名、神戸女子短期大学38名）が履修した。

## 12 ライブラリー・コモンズの活用

須磨キャンパスでは、ライブラリー・コモンズの設置から4年が経過し、学生に安定した学習支援プログラムを提供している。またP I キャンパスにおいても、図書館3階の一部にグループ学習コーナーを開設し活動しており、両キャンパスの平成29年度活動内容は以下のとおりである。

(P I ライブラリーコモンズの活用状況)

P I キャンパスでは、図書館3階の閲覧席フロアにライブラリー・コモンズを開設してから3年が経過しており、教員がアクティブ・ラーニングを取り入れた教育活動やゼミを行うだけでなく、グループ学習やプレゼンテーション発表、展示等、学生の主体的な学習の場として活用されている。

クリッカーを使用した参加者のアンケート調査やプレゼンテーションに対する相互評価等、ICTを活用した様々な教育活動やオープンルームでの公開講義等も積極的に行われている。

また、コモンズフロアには入退館システムを設置しており、大学、短大の学生区分別に利用状況が収集され、今後の課題や利用者の増加を検討するうえのデータとして蓄積されている。

平成29年度	利用者数	延 14,643 人
	予約利用件数	163 件



【学習支援センター】

(参加延人数)

須磨キャンパス			P I キャンパス		
基礎科目ミニ講義	理 科	20回 (145名)	基礎科目グループ学習	数 学	40回 ( 4名)
	数 学	40回 (280名)		化 学	45回 (104名)
	国 語	56回 (470名)		国 語	38回 ( 5名)
基礎科目個別相談	理 科	週2回 (104名)	基礎科目個別相談	数 学	週2回 ( 6名)
	数 学	週2回 (192名)		化 学	週2回 ( 0名)
	国 語	週2回 (138名)		国 語	週2回 ( 30名)
その他ミニ講義	ストレス	4回 ( 15名)			
その他活動	グループワーク	6回			
	祝日授業見学会	3回			
	教員免許更新講習	2回			

【ランゲージ・カフェ】

【その他】

本学外国人教員による海外文化に触れるイベント	1回	新任等教員 manaba 説明会 (PI キャンパス)	1回
留学生学修成果発表会	2回	新任等教員 manaba 説明会 (須磨キャンパス)	1回
留学生歓迎会・送別会	3回	大学院生対象 manaba 説明会 (須磨キャンパス)	1回
海外大学職員による外国語レッスン・講演会	7回		
海外大学職員による海外文化に触れるイベント	2回		
海外大学生による英語レッスン・大学紹介	8回		



13 国際交流事業の推進

(1) 海外研修等の実施状況

■アイルランガ大学 (インドネシア)

平成 24 年に大学間協定を締結し、3 年間の期間が終了していたが、平成 29 年 8 月 30 日付で新たに協定を締結した。健康スポーツ栄養学科を中心に共同研究や研修の実施等、今後の交流が期待される。

■オックスブリッジ・イングリッシュ・サマースクール

ケンブリッジ大学とオックスフォード大学の学生が組織する Oxbridge Summer Campus Abroad の学生を迎えて実施しているサマースクールには 19 名の学生が参加した。2 回目、3 回目の参加者に

加えて、留学に興味を持つ 1 回生の参加者も多かった。

■海外危機管理の強化に向けた取り組み

海外で不測の事態が発生した場合を想定し、学内での対応を確認するための海外危機管理シミュレーション訓練を平成 29 年 6 月 22 日に実施した。また、海外研修参加者に提出を求めている同意書の内容の見直しを行った。

(単位:名)

派遣先大学・機関等	研修・留学名	派遣学生数		
		大学	短大	計
華南師範大学	交換留学 ※2	2	—	2
	言語文化学習サービス・ラーニング プログラム	2	—	2
ハワイ大学	Semesterプログラム(前期) ※1	13	—	13
	Semesterプログラム(後期) ※1	11	—	11
	英語研修(夏期)	10	3	13
	英語研修(春期)	7	2	9
ケント大学	英語研修 ※1	16	—	16
	Junior Year Abroad English Plus	0	—	0
	日本語教授補助インターンシップ	1	—	1
フライブルク大学	ドイツ語研修	7	—	7
ピッツァー大学	サマープログラム ※1	18	—	18
オークランド工科大学	短期日本語教育研修	2	—	2
カリフォルニア州立大学 ポリテクニク大学ポモナ校	英語学習&サービス・ラーニングプログラム ※1	7	—	7
カセサート大学	国際ビジネス・タイ文化学習サービス・ラーニングプログラム	0	—	0
チェンマイ大学	英語・タイ文化学習サービス・ラーニングプログラム ※1	5	—	5
高麗大学	韓国語研修	4	—	4
静宜大学	中国語研修	6	—	6
クアキニ・ヘルスシステム	病院実習	2	—	2
ウダヤナ大学	インドネシア・バリ州栄養研修プログラム(国際健康福祉プログラムⅠ)	6	—	6
ホーエンフロイデンシュタット病院	ドイツ臨床栄養研修プログラム(国際健康福祉プログラムⅡ)	5	—	5
オーセンセ市(介護福祉養成学校)他	デンマーク社会福祉研修旅行	7	—	7
合 計		131	5	136

※1 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度対象 ※2 HUMAP 留学生交流推進制度対象

## (2) 海外からの留学生・研究者受け入れ

## 【留学生】

日本語日本文学科：華南師範大学 2名  
ウダヤナ大学 1名

## 【研究者】

ガジャマダ大学薬学部 講師/健康スポーツ栄養学科  
ひょうご震災記念21世紀研究機構 HORN 研究者交流事業

## 【短期研修】

英語英米文学科：ケント大学学生 1名  
健康福祉学部：ウダヤナ大学医学部 4名

## 14 図書館の利用状況

## (1) 図書館利用サービス

## 【須磨キャンパス】

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
開 館 日 数	272 日	269 日	268 日
入 館 者 数	124,725 名	115,104 名	111,632 名
貸 出 冊 数	23,800 冊	25,075 冊	23,905 冊
貸出冊数(1名あたり)	8.5 冊	9.2 冊	8.7 冊
AV コーナー利用者数	2,296 名	2,267 名	2,345 名

【P I キャンパス】

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
開 館 日 数	224 日*	249 日	252 日
入 館 者 数	35,198 名	35,971 名	36,642 名
貸 出 冊 数	6,702 冊	7,639 冊	13,156 冊
貸出冊数 (1名あたり)	4.9 冊	5.5 冊	5.2 冊
AV コーナー利用者数	138 名	91 名	53 名

\*平成 28 年度より、社会福祉学科・幼児教育学科の土曜日の振替講義日には開館実施。

(2) 資料受入状況

【神戸女子大学】

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
蔵 書 冊 数	283,956 冊	288,248 冊	292,101 冊
図 書 購 入 冊 数	2,903 冊	3,060 冊	3,517 冊
図 書 年 間 受 入 冊 数	3,752 冊	4,525 冊	4,506 冊
視聴覚資料年間受入数	277 件 (114タイトル)	278 件 (57タイトル)	126 件 (66タイトル)
雑 誌 所 蔵 種 数	2,930 種	2,930 種	2,930 種
雑 誌 年 間 受 入 種 数	219 種	219 種	219 種

注) 須磨キャンパス図書館およびポートアイランドキャンパス図書館 (大学) の合算

注) 除籍図書: 平成 27 年度 (325 冊)、平成 28 年度 (233 冊)、平成 29 年度 (653 冊)

注) 図書年間受入冊数: 雑誌・視聴覚資料を除く

【神戸女子短期大学】

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
蔵 書 冊 数	108,717 冊	111,361 冊	114,429 冊
図 書 購 入 冊 数	2,030 冊	2,343 冊	2,823 冊
図 書 年 間 受 入 冊 数	2,512 冊	2,644 冊	3,119 冊
視聴覚資料年間受入数	74 (52タイトル)	70 (55タイトル)	64 (45タイトル)
雑 誌 所 蔵 種 数	343 種	343 種	347 種
雑 誌 年 間 受 入 種 数	214 種	214 種	205 種

注) 除籍図書: 平成 29 年度 (51 冊)

注) 図書年間受入冊数: 雑誌・視聴覚資料を除く

(3) 地域開放利用状況

【須磨キャンパス】

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利 用 者 数	140 名	211 名	93 名
貸 出 冊 数	55 冊	67 冊	29 冊

注) 図書館利用サービスの入館者数、貸出冊数から抽出して再掲

15 教室等の利用時間の拡大

授業や試験、国家試験受験対策等に意欲的に取り組む学生への支援を目的として、ポートアイランドキャンパスでは、平成 29 年度後期から図書館及び体育施設を除く教室等の施設利用時間の拡大を図るとともに、学生の安全確保のための管理体制を整備した。

(平日 22 時・休日 21 時まで利用可)

## ■研究活動

### 1 研究活動の状況

各教員の研究業績等については、学校教育法施行規則の規定に基づきホームページ上で公開している。また、研究を支援するために外部資金獲得に向けた各種学会、協会及び民間企業等の研究助成に関する情報収集を行い、関係学部・学科等に提供することにより研究活動の促進に努めている。

### 2 科学研究費助成事業の採択

大学においては、平成 29 年度は、応募件数 50 件、新規採択件数 12 件であり、継続分と併せた採択件数は、40 件（50,310 千円）であった。新規採択率は 23%で、大学専任教員（助手除く）（154 名）に対する採択率は 26%であった。今後も応募件数及び採択件数の増加を

目指し、学内個別相談会の開催及び採択者の応募書類の公開など、支援の一層の強化を図ることとする。

短期大学においては、科研費申請の増加、研究の活性化を目的に、採択に向けて啓蒙活動を活発に実施し、挑戦的萌芽研究1件、基盤研究C3件の合計4件の申請のうち、新たに1件が採択され、継続分と併せた採択件数は2件となった。今後も申請件数の増加を図る取り組みを展開する。

### 3 産学連携活動の取り組み

企業等との共同研究や受託研究及び企業等との連携による商品開発等を積極的に推進している。

【科学研究費助成事業採択状況（大学）】

（単位：千円）

研究種目	平成 28 年度				平成 29 年度			
	件数	直接経費	間接経費	合計	件数	直接経費	間接経費	合計
基盤研究（B）	1	2,600	780	3,380	1	2,700	810	3,510
基盤研究（C）	29	23,800	7,140	30,940	31	27,500	8,250	35,750
挑戦的萌芽研究	4	2,900	870	3,770	3	2,900	870	3,770
若手研究（B）	0	0	0	0	3	3,700	1,110	4,810
研究活動スタート支援	4	3,800	1,140	4,940	2	1,900	570	2,470
合計	38	33,100	9,930	43,030	40	38,700	11,610	50,310

【企業等との共同研究や受託研究等の状況（大学）】

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
共同研究・受託研究（継続含む）	7 件	5 件	10 件
商品化・サービスの開始など事業化への貢献	4 件	4 件	6 件
技術相談受け入れ件数	0 件	0 件	0 件
特許の申請状況	0 件	0 件	0 件

【商品開発等（大学）】

	企業名	内 容
1	イオンモール(株)	食育イベント等の実施
2	(株)北海	ラーメンメニュー開発
3	ウオクニ株式会社	社員食堂メニュー開発※短期大学食物栄養学科も参加
4	コープこうべ	ヨーグルトレシピメニュー開発
5	〃	神戸メロンパン開発商品化
6	明石市	健康レシピ共同開発

### 4 その他外部資金の採択状況

件数	交付元	研究課題名
1	平成 29 年度学術研究助成金 (公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団)	「日本の伝統食品に使用される栄養成分の組合せによる高血圧予防の可能性の検討」
2	平成 29 年度研究助成金 (一般財団法人杉山報公会)	「エクストラバージンオリーブ油に含まれるオレウロペインアグリコンの TRPA1 および TRPV1 活性」
3	平成 29 年度研究助成金 (公益財団法人伊藤記念財団)	「機能的畜産副生成物を用いた糖尿病合併高血圧症の改善を目指した開発研究」

## 5 古典芸能研究センター

古典芸能研究センターは、古典芸能に関する調査・研究ならびに社会への学術的貢献を目的として開設され、古典芸能や民俗芸能に関する書籍・資料を幅広く備えた研究施設である。学内・学外、学生・社会人を問わず利用可能であり、所蔵資料の公開を中心に展示や特別講座、シンポジウム、講演会等を行っている。

平成 29 年度は、5ヶ年計画の研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」(文部科学省平成 25 年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択)の最終年として、公開研究会や展示を行った。また、学内外の貴重資料を紹介する「神戸女子

大学古典芸能研究センター研究資料集」の刊行を開始し、第 1 冊目として、ドイツ・フランクフルト市立工芸美術館蔵フォーレッチ・コレクションの奈良絵本や個人蔵の稀書を収めた『説経稀本集』を公刊し、平成 28 年度刊行『説経 人は神仏に何を託そうとするのか』(神戸女子大学古典芸能研究センター叢書 3)を補完する企画とした。「所蔵資料(和書)デジタルアーカイブ」(仮称)による資料のインターネット公開は準備が完了し、加えて、地方公共団体への資料提供による展示協力、テレビ・ラジオの取材対応など、さまざまな手段で古典芸能・民俗芸能に関する研究機関としての発信を行った。

## ■地域連携活動・社会貢献活動

### 1 社会貢献の概要

平成 28 年度に地域連携の組織的・総合的な推進及び円滑な運営を目的として、地域連携推進センターを新設し、その活動をまとめた地域連携活動報告書を毎年発行している。

### 2 須磨区との地域連携

須磨キャンパスにおいては、大学の地元である須磨区との包括連携締結(2006年3月)や、大学に隣接する神戸市立須磨離宮公園との「キャンパス・パーク連携(CP連携)協定(2006年12月)」に基づき、多数の学生・教職員が行政機関、地域団体等が主催する催しへの参画をはじめ、「まちづくり」、「学習支援」、「人づくり」等に積極的に取り組んだ。須磨離宮公園とは、定例会議(月1回)を開催し、1年を通じて様々な催しに学生が参加している。

また、平成 26 年度より須磨区主催の「地域連携事業 4 大学と須磨区の情報交換会」において、須磨区と連携する 3 大学「神戸大学医学部保健学科(須磨区)」「神戸市立看護大学(西区)」「流通科学大学(西区)」と意見交換を行うとともに、須磨区主催の「総合行政調整会議」に加わり、須磨区との連携をより強化している。さらに市民にキャンパスを開放し、図書館の利用、高齢者への給食サービス、子育て支援事業、公開市民講座及び健康講座等を実施している。

#### (1) 消防団協力大学

神戸市消防局より消防団協力事業所として認定(平成 22 年 10 月)され、神戸市で最初の「消防団協力大学」として須磨消防署を拠点に学生消防団員が地域

の防火・防災活動で活躍している。

#### (2) ふれあい給食

学生、教職員等で構成する「神戸女子大学プロジェクトコスモス」が、地域の NPO 法人「輝たかくら台」と連携し、高倉台地域に住む 65 歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に月 1 回(年 10 回)学生食堂給食サービスを主催している。

#### (3) ローズ・フェスタ

平成 29 年度で 11 回目の節目を迎えた本学主催の音楽祭「ローズ・フェスタ」(5 月)では、各クラブが日頃の練習の成果を発表するとともに、企画・運営等に学生が積極的に取り組んだ。

#### (4) 神戸マラソン

須磨区内の沿道において甲冑姿で声援するボランティア活動を実施し、大会を盛り上げた。

#### (5) プレイフル・サンドアート

須磨海岸における地域住民主催の防災イベント「浜キャンプ SUMA」において、コープこうべとの協力で学生がサンドアート等に取り組んだ。

その他、学科及び研究分野等の特長を活かした継続性のある地域連携活動を以下のとおり行い、活動内容について、ホームページ等で広く発信した。

- ・高倉台魅力発信プロジェクト「すまう #takakuradai」発行等
- ・算数・数学クリニック(児童対象)
- ・須磨区の花であるコスモスの植付け計画(須磨区主催)等

### 3 中央区等との地域連携

ポートアイランドキャンパスにおいては、平成 20 年 1 月に神戸市中央区と地域連携協定を締結しており、同

区主催の行事や福祉活動への参画、食育・幼児教育や福祉等に関する大学の教育・研究資源を活用した市民への情報提供等を行っている。

平成 29 年度には、第 8 回中央区小学生ドッジボール大会（学生 8 名）、中央区区民まちづくり会議安心定住部会と中央区社会福祉協議会が連携した「ハートフルフェスタ 2017」（学生 33 名）に加え、神戸マラソンボランティア（学生 200 名）及び神戸まつり（学生 20 名）等に参加した。その他以下の活動に参加している。今後も学生の参加を積極的に支援するとともに、地域社会とともに諸活動の活性化を推進していく。

- ・健康神戸 21 推進事業「第 1 回企業交流マラソン inKOBE」
- ・きずな DAY（子育て支援事業）  
※神戸女子短期大学・神女中山手保育園の連携

#### 4 ポートアイランド 4 大学の連携

ポートアイランドキャンパスでは、平成 19 年度に近接の神戸学院大学、兵庫医療大学、神戸夙川学院大学と連携協定を締結して以降、4 大学の教育・研究の交流及びポートアイランド地域への貢献を目的とした共同事業活動を展開してきた。平成 28 年 1 月に連携協定締結後、10 年目の節目を迎えたことから、連携・交流を一層深めるためにより具体的な連携・協力事項として以下の 7 項目を掲げ、新たに「神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、夙川学院短期大学及び兵庫医療大学の連携協力に関する協定書」を平成 29 年 3 月に締結するに至った。

[連携・協力事項]

- (1) 教職員の研修（FD・SD 研修会、講演会等）の協同実施に関する事
- (2) 学内施設及び設備の共同利用に関する事
- (3) 教育プログラム、教材等の開発、利用等に関する事
- (4) 教職員の人事交流に関する事
- (5) 学生の派遣及び受入れに関する事
- (6) 地域安全まちづくり活動の推進に関する事
- (7) その他協定大学が必要と認める事項

具体的には、各大学のもつ機能・組織の連携を目的に設置されている 6 つの部会（①学生部会 ②教務部会 ③図書館部会 ④社会貢献部会 ⑤入試広報部会 ⑥キャリア支援部会）それぞれが、定期的な情報交換の場を設け、連携協力活動を通じて、学生の入口から出口までをサポートしている。

また、「安心・安全・健康」をテーマに、4 大学共通の課題や地域社会からの要請にそったプロジェクトを展開しており、平成 29 年度にあつては、本学は次のプログラムに参画した。

- ・高齢者のための ADL 体力アップ教室  
（年 18 回開催、延べ参加者：1,549 名）
- ・親子であそぼう くじらくらぶ  
（年 11 回開催、延べ参加者：児童・保護者 248 名）
- ・健康生活を守るための介護予防・介護する人の支援  
「第 36 回おいしく食べるための工夫を学ぶ」（参加者 29 名）

#### 5 ボランティア活動

学生は、地域の人々との交わりやボランティア活動を通して、地域社会に生きることの意味を体験的に学び、自立心・対話力・創造性を育てている。東日本大震災及び熊本地震災害被災地での復興ボランティア活動への参加をはじめ、地域の抱える課題が多様化する現在、本学に対する社会貢献活動や学生のボランティアの要請は年々増加している。

「地域連携推進センター」の開設から 1 年が経過し、学生及び教職員の円滑な地域連携活動を推進するとともに、教育と学術研究成果の地域への還元、地域社会とのつながりを深める活動を支援するための体制整備により一層積極的に取り組んだ。

須磨キャンパスにおいては、地域連携推進事務局が受理した地域連携活動への参加要請が 156 件あり、半数は新規に依頼を受けた。そのうち学生に案内したボランティア活動等は 131 件におよび、延べ 309 名の学生が参加した。PI と情報を共有する依頼も増加している。その他、教育委員会との連携により須磨区を中心に市内の小学校で学生が授業のサポートを行うスクールサポーター制度や、公立幼稚園、私立幼稚園、認可保育所等で多数の学生が教育や保育関係の活動に参加している。

ポートアイランドキャンパスにおいては、前述の中央区及びポートアイランド 4 大学連携事業に係るボランティア活動のほか、認知症カフェ、文化と平和のつどい 2017 及び回想法市民講座等に、延べ 510 名の学生が参加しており、参加者は年々増加している。

#### 6 公開市民講座の開催

地域とのコミュニケーションを目指して昭和 56 年度より開講している公開市民講座は、春季（須磨）、秋季（PI）の 2 期 2 会場で「リスクに備える」をテーマに各 5 日間開催した。また「爽やか健康講座」（全 10 回）には地域の高齢者等が多数参加した。

#### 7 オープンカレッジの開講

神戸女子大学教育センター（三宮キャンパス）では、広く地域の人々を対象としてオープンカレッジを開講している。講座の内容は、語学・歴史・教養・健康・古典芸能など多岐にわたる。またシニア世代を対象とした無料の講座や特別企画の講演会なども開催している。受講人数は延べ 3,042 名と好調に推移している。

## ■学生支援活動

### 1 奨学金の採択状況

本学では日本学生支援機構の奨学金（貸与）をはじめ、学園独自の奨学制度や関連団体からの奨学金（給付）等により、概ね学生の2名に1名が奨学金を利用している状況にある。奨学金制度の採用者数は以下のとおりであり、奨学金の受給を前提に大学

へ進学する者が多い。

平成29年度は、日本学生支援機構において「給付型」奨学金が試験的に導入されたところであるが、今後も個々の学生の状況に応じて適切な支援に努めていく。

#### (1) 日本学生支援機構奨学金

採用種別奨学生（新規採用）数の状況

【大 学】

(単位：名)

種 別	給付型	第一種	第二種	平成29年度	平成28年度
予 約 採 用	—	159	224	383	327
定 期 採 用	4	64	70	138	117
追 加 採 用	—	0	0	0	18
臨 時 採 用	—	0	2	2	1
緊急採用・応急採用	—	0	0	0	0
今年度採用者合計	4	223	296	523	463

※第一種（無利子）第二種（有利子）

※第一種定期採用には、大学院2名を含む

【短期大学】

(単位：名)

種 別	給付型	第一種	第二種	平成29年度	平成28年度
予 約 採 用	0	52	85	137	125
定 期 採 用	—	6	10	16	21
追 加 採 用	—	0	0	0	5
臨 時 採 用	—	0	1	1	2
緊急採用・応急採用	—	0	0	0	0
今年度採用者合計	0	58	96	154	153

#### (2) 行吉学園奨学制度

(単位：名)

区分		奨励金授与	授業料等免	大学院奨学金
大 学	1年次生	—	—	—
	2年次生	28	4	—
	3年次生	28	4	—
	4年次生	25	3	—
大学院	修士・博士前期	—	—	23
	博士後期	—	—	6
小 計		81	11	29
短 期 大 学	1年次生	—	0	—
	2年次生	21	0	—
小 計		21	0	—
合 計		102	11	29

※奨励金授与制度：前年の成績優秀者を学科から推薦し表彰するもの。奨励金として10万円が授与

※授業料等免除制度：在学中の家計急変による修学継続援助。授業料教育施設充実費の半額を免除

※大学院奨学金：（博士前期課程）授業料の半額給付、（後期課程）授業料全額給付

#### (3) 大学・短期大学関連団体の奨学金

No.	奨学名称	区分	金額	年次	人数
1	神戸女子大学教育後援会 育英奨学生奨学金	給付（年額）	200,000円	4年次	2名
				3年次	4名
				2年次	3名
2	青山会（大学同窓会）		500,000円	4年次	3名
3	かなめ会（短期大学同窓会）		授業料等の半額	該当なし	

※神戸女子大学同窓会青山会の給付額は、給付者の在籍学科により給付額が異なる。

## 2 学生表彰の状況

学生表彰制度に基づく平成 29 年度の表彰者は下表のとおりである。

### 【大学】

表彰区分		個人	団体
1	学業優秀で品行方正な全学生の模範となる者(学部生)	9名	—
2	課外活動において特に優秀な成果を挙げた者	4名	3団体
3	社会貢献活動において社会的に高い評価を受けた者	—	1団体
4	公的機関から表彰された者	4名	2団体
5	学内外の活動において他の模範となる行為があった者	3名	1団体
6	その他 1~5 に準ずると認められた者	4名	1団体
7	大学院生で特に顕著な学問業績を挙げた者	1名	—

### 【短期大学】

表彰区分		個人	団体
1	学業優秀で品行方正な全学生の模範となる者	3名	—
2	課外活動において特に優秀な成果を挙げた者	1名	—
3	学内外の活動において他の模範となる行為があった者	—	1団体

## 3 学生寮等の利用状況

学生寮の平成 29 年度利用状況は下表のとおりである。寮生活においては、寮生間の交流を深めるための様々な行事が実施されており、日常の生活支援とともに生活の充実に向けた取り組みを展開している。平成 29 年度は行幸寮についても、4 年間入寮できるよう学生寮規程を改正している。

また、ポートアイランド内の学生専用マンション

(防犯カメラ、オートロック、カードキー等最新設備完備)に本学専用フロアを設置しており、平成 29 年度は 74 名の学生が入居している。キャンパスの近隣に位置しており、通学の利便性が高く、防犯設備等の面からも一定の需要がある。また、六甲アイランドにある女子学生専用マンション(送迎バス付)にも約 92 名の学生が入居している。

### 【寮利用状況】

区分	年度	定員	入寮者	残数	入居率
行幸寮	平成 29 年度	108	72	36	66.7%
	平成 28 年度	108	90	18	83.3%
	平成 27 年度	108	107	1	99.1%
天神寮	平成 29 年度	70	57	13	81.4%
	平成 28 年度	70	41	29	58.6%
	平成 27 年度	70	40	30	57.1%
計	平成 29 年度	178	129	49	72.5%
	平成 28 年度	178	131	47	73.6%
	平成 27 年度	178	147	31	82.6%

## 4 健康増進への取り組み

### (1) 健康調査・個別相談

健康な学生生活を送ることができるよう、全学生を対象に毎年健康診断を実施するとともに、入学時には健康調査を行い、感染症の罹患・予防接種状況を把握し、必要な学生を対象に個別相談を実施している。

### (2) 応急処置・相談件数

保健室では、ケガや急病時の応急処置、医療機関の受診や心身の悩みに関する相談等を行っている。利用件数は、精神保健相談体制の充実や学生数の増減等により大学で増、短大で減となっている。

### (3) 心身のサポート体制の充実

学生が心理的な悩みや問題を相談できる学生相談室では、カウンセラー(臨床心理士)を配置して学生からの相談に常時対応しており、保健室と連携して心身のサポート体制を充実させている。

### (4) 健康づくり啓発強化

28 年度から毎月、KISS システム及び掲示等により健康情報を発信し、感染症予防や健康づくりの啓発強化を図っている。須磨キャンパスでは、平成 26 年度から防災訓練と併せて AED 訓練も行っている。



【保健室の利用状況（教職員除く）】

(単位：件)

	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	大学		短大	大学		短大	大学		短大
	須磨	PI		須磨	PI		須磨	PI	
学生利用	1,535	668	1,040	1,550	858	974	1,564	1012	661
	2,203			2,408			2576		
学校医による健康相談	15			12			21		
嘱託医による精神保健相談	18			31			20		

【学生相談室の利用状況】

(単位：名／実数)

	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	大学		短大	大学		短大	大学		短大
	須磨	PI		須磨	PI		須磨	PI	
相談実人数	38	13	11	36	10	7	31	7	6
	51			46			38		
相談内容 別実人数	学 業	0	0	0	0	0	1	0	
	進 路	4	0	2	1	4	1		
	心 理	47	10	43	6	33	5		
	生 活	0	1	1	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0		

5 教職支援

教職支援センターにおける平成 29 年度の活動等は以下のとおりであり、神戸女子大学で 139 名（うち学校教員 75 名、幼稚園教員 8 名、※保育士 56 名）、神戸女子短期大学で 82 名（うち学校教員 1 名、幼稚園教員 5 名、※保育士 76 名）が教員として採用されている。（※保育士には「こども園」就職者を含む）

【大 学】

「神戸女子大学教職支援センター」は、全学の教職課程運営の拠点として、教職協働で学生支援と教職課程の運営を行い、教職支援センター構成員と運営委員を中心に、教員が主体となって指導している。

教育職員免許法の改正に伴う教職課程再課程認定申請に向け、教職課程を置いている全学科・専攻（16 学科・専攻）の教職課程科目と担当者の確認、コアカリキュラムに対応した授業科目の設定及びシラバスの検討、また、履歴書・研究業績書等の提出が必要な教員の書類作成等の申請書類の作成を行った。

[平成 29 年度の主な取り組み]

- ・教員免許状更新講習の継続開設（409名受講）
- ・兵庫県教育委員会との共催による中堅教諭等資質向上研修の実施（98名受講）
- ・「教職卒業生ネットワーク」の活用促進
- ・全教職員対象「教職課程研修会」の開催（通算第 6 回）
- ・教職課程担当教員の業績積み上げのための「神戸女子大学教職課程研究」を創刊
- ・教員養成制度改革への取り組み等

【短期大学】

教職を目指す学生に対し、教育実習、保育実習、教員採用試験、保育士採用試験等の支援を行っている。

[平成 29 年度の主な取り組み]

専門指導員を配置し、教員採用・保育士採用に関する面接指導、履歴書の添削指導等を実施した。



## 6 就職支援

キャリアサポートセンターでは、資格取得講座の開講やキャリア教育を通じて学生の就職を支援しており、平成30年3月に大学・短期大学を卒業した者の進路状況は下表のとおりとなっている。

区 分	卒業者	就 職 希望者	就職者	就職率	就職以外の進路者	
					進学者	その他
神戸女子大学	780名	708名	696名	98.3%	23名	49名
神戸女子短期大学	282名	249名	247名	99.2%	21名	12名

### 【大学】

#### (1) 就職状況

平成30年3月卒業生の求人倍率は1.78倍と、前年の1.74倍とほぼ同水準であった(前年より+0.04ポイント上昇)。本学の就職率も平成30年5月1日現在で98.3%(前年度比+0.3ポイント)、進路決定率では92.2%(前年度比+1.0ポイント)と好調に推移した。

平成29年度は前年度に引き続き企業との関係強化・企業の推薦枠の拡大に努めた。学生と企業との接点を増やす施策として開催した3年次生対象の学内企業説明会には多数の企業(地方自治体含む)を招き、学生の就職に対する意識高揚を図るとともに、

4年次生を対象とした合同・単独企業説明会を実施するなど、就職に向けたきめ細やかな支援を充実させた。

#### (2) 資格取得講座の開講状況

平成29年度はMOS検定試験講座など多様な講座を開講し、受講生数は延べ856名(須磨キャンパス)となり、前年度比115%であった。資格サポートオフィス開設以来、最高人数となり学生の意識向上が窺える。低年次から就職活動を意識させ、資格取得の準備を促したことにより、受講生の半数を1・2回生で占めている。

### 【短期大学】

#### (1) 就職状況

前年度に引き続き経済状況の回復傾向が見られ、民間企業からの求人受付数は増加した。学生が希望する進路を確保することを重点目標にして取り組み、就職率は平成30年5月1日現在で99.2%(前年度比+1.1ポイント)、進路決定率も98.9%(前年度比+0.7ポイント)と好調に推移している。

平成29年度は特に学内企業セミナー・説明会の開催数を大幅に増やした。春に学内企業説明会を新規で開催し、19社に対し学生102名が参加した。秋にも業界セミナーを新設し、8社に対し学生457名の参加があった。さらに2~3月開催の企業研究会を前年度の30社から70社へと大幅に増やし、前年度比3倍以上の約1,900名の学生が参加した。これ以外に、ハローワークとの連携強化、KISSシステムの有効活用など全方向からの学生支援をきめ細かく積極的に実施した。

#### (2) 資格取得講座の開講状況

資格取得講座の中でも学生のニーズが高いMOS Word 2013、MOS Excel 2013、秘書検定2級対策を開設したほか、新たに公務員対策講座を実施した。今後も学生のニーズに応じた講座を選定し、定期的にガイダンスを行い、学生の就活力の向上につなげていく。

## ■自己点検・評価への取り組み

学校教育法第 109 条の規定に基づき教育研究等に関する以下の点検・評価活動を行っている。

- (1) 平成 29 年度自己点検・評価報告書の作成
- (2) 「活動計画書」「活動報告書」による各部局等の目標達成度の検証

## ■学生募集

平成 30 年度入試は、7 月の学園内編入学試験・大学院入試から始まり、AO 入試、推薦前期・後期、大学入試センター試験、一般前期・後期までの日程で 3 月 4 日に全てが無事終了した。

広報活動については、いわゆる 2018 年問題を迎え 18 歳人口の更なる減少期が始まる厳しい状況下、平成 29 年度も本学園の社会的評価を高めることを主眼に、積極的な広報活動を以下のとおり展開した。

- ①受験生用ホームページ「スマイルナビ Web」の充実
- ②大学案内の 1 か月早い発行
- ③スマイルナビの年 5 回から 6 回の発行
- ④スマイルナビ短大特別号の発行など受験生向け制作物の強化
- ⑤オープンキャンパス（6 月～3 月の 7 日間）の開催

また、高校対策として、夏期には多くの教員の協力を得て、兵庫・大阪をはじめ北陸・近畿・中四国の高校訪問を実施した（374 校）。さらに高校内進学ガイド

- (3) 「三つの標語」（教育目標）、「学力の三要素」（学校教育法）、「学士力」（中教審答申）を踏まえた「三つの方針」（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の再検証

を 73 校から 185 校と大幅に増やした。高校生・保護者が訪れる会場進学ガイダンスに積極的に参加し、高校生と直接面談できる機会を増やし本学の魅力を最大限 P R した。今後も広報戦略・効果の検証を行い、よりダイナミックな広報活動を展開する。

### 【新たな取り組み】

- ①外部の英語試験を利用する推薦前期 D、一般前期 D で G T E C に加え、新たに実用英語検定を導入した。
- ②短大 AO 入試のエントリー開始を早め、6 月のオープンキャンパスより実施し、合格発表までの入試日程を約 3 週間前倒した。
- ③ S N S（Instagram、Twitter、LINE）による情報発信を開始した。
- ④祝日授業見学会、イオンモールでのファッションショー開催等新たなイベントを実施した。



## ■施設整備

### 1 施設の充実

教育・生活環境の改善への対応は以下のとおりである。

#### 【須磨キャンパス】

##### (1) 学生生活環境の整備

- ①第1、第2クラブハウスの床長尺シート、壁クロスの張り替え、和室の畳替え及び照明器具のLED化工事
- ②体育館ロビーの床カーペット、長尺シート張替えを行い、イートインスペースを設置した。
- ③天神寮浴場ボイラー及び濾過タンクの更新

##### (2) 教育環境の改善

- ①C館 実験室の実験台及びドラフトの更新工事
- ②B館・D館照明器具LED化工事
- ③体育館アリーナ音響メインスピーカー更新

##### (3) その他

- ①雑用水汲み上げ用深井戸ポンプの更新
- ②B館・M館2、3階共用部の照明センサー取付け

#### 【PIキャンパス】

##### (1) 学生生活環境の整備

- ①非常階段照明器具のLED化更新工事
- ②C館階段室西面ガラスの遮熱フィルム張替え
- ③B館東階段塗装改修工事
- ④教育センター機械警備監視盤更新工事
- ⑤東門床タイル補修工事

##### (2) 教育環境の改善

- ①調理実習室給湯器更新
- ②図書館1階・2階ガラス遮熱フィルム張り工事
- ③施設・設備の長期維持に向けた機器の定期更新（昇降機、空調機、空調冷却塔等）
- ④調理実習室空調機分解洗浄
- ⑤教育センター屋上防水工事
- ⑥ガス配管及び遮断弁取替工事
- ⑦フロン抑制法に基づき、フロン使用機器（空調機）台帳作成及び点検

### 2 情報処理機器の整備等

ネットワーク機器、情報教育設備の定期的な更新、及びWebによる迅速な情報発信等を行っている。

- (1) ネットワークセキュリティ対策関連機器の更新
- (2) 須磨M204・情報教室のパソコン更新
- (3) ホームページのニュース欄への情報掲載
  - ・大学 618件
  - ・短大 161件

### 3 防災への取り組み

#### 【須磨キャンパス】

〔災害用食料・物資の備蓄〕

神戸市からの依頼により、28年度に引き続き「災害用備蓄食料・物資」の保管場所として施設課倉庫を提供し、期限切れ物資の更新を実施した。また、災害時用の教職員3,000名分の飲料水（1名あたり1日3リットル）10日分を確保できる給水口を設置した。

#### 【PIキャンパス】

- ①ポーアイ4大学総合訓練に参加
- ②自家発電機整備及び冷却タンク更新工事
- ③非常階段ドアサムターン改修工事
- ④災害用備蓄用5年保存水500ml720本確保

#### 【三宮キャンパス】

災害時に帰宅困難者を一時的に受け入れる協定を神戸市と締結した。



## ■管理運営

### 1 常任理事会の開催状況

常任理事会は、法人の日常業務を決定するために設置しており、平成 29 年度は原則として隔週の頻度で 29 回開催した。主な議題としては、神戸女子大学大学院看護学研究科の設置準備、大学院学納金の改定、神戸国際教養学科の名称変更及び講師・特任教員・助手・助教制度の見直しとともに、非常勤講師、臨時的任用職員の無期雇用転換への対応策としての規程整備が進められた。

### 2 神戸女子大学文学部神戸国際教養学科の名称変更

神戸国際教養学科は、幅広い国際教養と国際社会の場で通用する言語能力、コミュニケーション能力を身に付け国際教養人を育成するため、平成 18 年に設置されたが、さらに、より幅広い教養と国際社会で活躍できる国際教養人を育成するため、その目的に則した学科名称である「国際教養学科」に平成 30 年 4 月から変更することとした。なお、名称変更の適用は、平成 30 年 4 月以降の入学者とし、平成 29 年度以前の入学者は学科名称を「神戸国際教養学科」とする。

### 3 学園広報活動の展開

#### (1) テレビ放映・新聞等への掲載

マスコミからの取材によるテレビ放映や新聞・雑誌への掲載は、多くの教員と学生が活躍した成果であり、直接取材 71 件、記者発表による取材 12 件と好調であった。

#### (2) 学園広報誌「神女広報“CROSSROADS”」

年 2 回発行。特集として、「vol.24」は神戸女子大学と神戸女子短期大学が一体的に運営される新体制について採り上げ、「vol.25」では本学園が永年にわたり取り組んできた子どもたちへの食育を紹介した。

#### (3) 毎日新聞連載企画

平成 20 年 10 月に開始された連載企画がポアアイ 4 大学連携として継続中であり、平成 29 年度は、大学文学部 2 名、家政学部 1 名、看護学部 5 名、健康福祉学部 2 名、短期大学 3 名の教員が執筆し最新の研究を紹介した。

### 4 教職員表彰の実施

教育・研究の推進、経営の改善等の顕著な業績ならびに永年にわたる学園への貢献を顕彰する教職員表彰式をホテルオークラ神戸で挙行(平成 29 年 12 月 12 日)し、以下のとおり表彰した。

#### 【教職員表彰】

表彰区分	表彰内容	受賞者
行 吉 賞	表彰対象となった業績の中で、最も顕著な業績を挙げた個人・グループに贈られる賞	学園キャリアサポートセンター
行 吉 学 園 理 事 長 賞	大学(附属幼稚園を含む)、短大、法人本部の教職員で経営・運営事務の改革改善に顕著な業績を挙げた個人・グループに贈られる賞	神戸女子大学認証評価担当者
		神戸女子短期大学認証評価担当者
神 戸 女 子 大 学 長 賞	大学及び附属幼稚園の教員で、教育・研究に顕著な業績を挙げた個人・グループに贈られる賞	家政学部管理栄養士養成課程 准教授 清水 典子
神 戸 女 子 短 期 大 学 長 賞	短期大学の教員で、教育・研究に顕著な業績を挙げた個人・グループに贈られる賞	幼児教育学科 准教授 畠山 由佳子

#### 【永年勤続表彰】

表彰区分	受賞者数	表彰区分	受賞者数
勤続 35 年表彰	3 名	勤続 25 年表彰	12 名

## 5 収益的事業の展開

### (1) オープンカレッジ

大学の知的財産の地域社会への還元を目的として、語学、歴史、自然科学、教養、健康等様々な分野で質の高い講座から生活に密着した内容の講座を開講しており、現代社会における生涯学習の場としての役割を担っている。

昨今、人生 100 年時代の到来と言われており、また一方では少子化が進むなか、広くシニア世代を対象としたアカデミックかつ受講者が関心を抱く新講座を増やすなど、継続して受講できることに重点をおいている。平成 29 年度は開講 15 周年特別企画等により受講者数が 508 名の増加、年間延 3,000 名を超え、収益は 328 千円の増益となった。

### (2) 貸室（教室・体育館等）

試験会場、神戸太極拳協会、各学会・研修会等多数の利用があり、総収入は 3,460 千円（前年比 94 千円減）となった。

### (3) 卒業貸衣裳、自販機手数料等

学内に設置する自販機（食堂業者が設置するものを除く）の管理、卒業式用の貸衣裳紹介、自動車教習所の紹介等の収入があった。

## 6 教育後援会との交流強化

大学と家庭の間の連絡を緊密にし、大学の教育振興に寄与することを目的として設立された教育後援会から、学生に対する各種セミナーの実施や資格取得補助、育英奨学金制度等、学生生活の充実に向けた多くの支援を得ている。

後援会の組織運営や各事業の実施については、後援会事務局と大学教職員との協力関係により運営されており、引き続き、後援会の事業推進に向け連携を強化するとともに、情報交換の場や交流の機会を通じて相互の信頼を深めつつ、より良好な関係を維持していく。

### 【学生支援事業】

- ・学生対象セミナー（メイクアップ講座・テーブルマナー講座）
- ・キャリア支援補助（資格取得補助）
- ・育英奨学金の給付
- ・大学祭、卒業祝賀会等の補助
- ・記念品の贈呈

### 【保証人支援事業】

- ・教育懇談会（本学会場・地方会場）
- ・キャンパス見学ツアーの開催
- ・会報誌の発行

## II-2 神戸女子大学附属高倉台幼稚園

### 1 園児数

（平成 29 年 5 月 1 日現在）

区分	クラス	在園児	入園児	合計
満 3 歳児	1	—	0 名	0 名
3 歳児	2	—	38 名	38 名
4 歳児	3	57 名	8 名	65 名
5 歳児	3	65 名	1 名	66 名
合計	9	122 名	47 名	169 名

### 2 子育て支援

(1) 満 3 歳児入園の開始（9 月より実施） 4 名入園

(2) にこにこクラブ（兵庫県補助対象事業）

未就園児の親子を対象として、毎週月・火・金曜日に実施しており 98 回実施した。（火曜日は教育実習の一環）

- ①幼稚園の生活に向けて、安定した母子分離を図る。
- ②幼児、保護者の交流を深め、情報交換の場とする。

(3) わくわく幼稚園（兵庫県補助対象事業）

在宅幼児を小学校教育へ円滑に移行させるため、在園児と同等の専門的な幼児教育を計画的に実施した。

【実施回数】10 回 【参加人数】親子平均 7 組

(4) みんなの幼稚園（神戸市私立幼稚園連盟補助対象事業）

未就園児が幼稚園教育を体験し交流を深め、安定した家族関

係をつくることを目的として実施した。

- ・未就園児親子登園日（97 回）・園庭・園舎開放（27 回）
- ・教育相談（62 回）
- ・母親教室（5 回）

(5) 園庭開放

第 1・第 3 水曜日（13:30～15:30）、地域の親子を対象に園庭を開放している。

### 3 地域との関わり

園児が地域行事に参加し、地域の方々と触れ合うことにより、様々な人と関わる力を身につけている。

- (1) シルバーカレッジの昔あそび研究会との交流
- (2) 高倉台ふるさとまつりへの参加
- (3) 高倉台一人暮らしの方とのクリスマス会への参加
- (4) トライやるウィークの中学生受け入れ
- (5) 小・中学校との交流・連携

### 4 施設の充実

- (1) 遮光テント増設工事の実施
- (2) 2 階トイレ給水管工事の実施
- (3) トイレ・手洗い場改修工事の実施
- (4) 廊下固定テント庇張替工事の実施
- (5) 園庭人工芝入替工事の実施

## III 財務の概要

### 1 平成29年度補正予算の編成

平成30年3月末の決算見込み額を算定するため、補正予算を編成した。平成29年度は、期中の補正予算編成を行わず当初予算どおりの事業規模としていたが、入学検定料収入の増加や人件費・教育研究経費の減少により、当初予算に比べ基本金組入前当年度収支差額は改善する見込みとなった。

### 2 平成30年度予算編成方針の策定

#### (1) 予算編成の基本方針

- ①既存学部・学科における経費支出については平成29年度当初予算と同額とし、経常費・臨時費各々での増加は認めないこととした。
- ②看護学部については、完成年度である本年度まで個別に予算編成を行い、収支状況の確認を行う。
- ③学生サービスに係る施設・教育環境整備事業は、引き続き長期計画に基づき整備を行う。

#### (2) 平成30年度の重点施策

- ①教育内容の充実支援として、「大学生基礎力レポート・基礎学力版」を平成28年度から継続実施し内容の充実を図ると共に、クラウド型教育支援システム「manaba」の利用拡充を推進する。
- ②学生生活、教育環境改善では、須磨2教室の固定機の改修、P I 図書館の開館時間延長経費を計上する。
- ③学園の教育・研究の高度化を目指し看護学研究科設置費用を計上する。
- ④三宮教育センター体育館の耐震補強工事を行い、全館の耐震工事を完了させる。
- ⑤学園全体での施設整備では、長期施設設備改善計画に基づき、P I - A館のエレベーターリニューアル、及びA・B館屋上防水工事、情報ネットワーク機器の更新などを行う。幼稚園では、給食用オーブンの買換えを行う。

#### (3) 平成30年度の収支予算

平成30年度の収入予算は、新入学生について大学は入学定員の若干の上振れを見込み、短大は実勢を前提に作成した。教育研究費支出は、教育内容維持のため前年度予算を上限とする範囲で計上した。看護学部の完成年度にあたり、更には平成28年度生からの授業料値上げ及び大学栄養系学科の入学定員増の経過年度でもあることから、短大での入学定員未達はあるものの、経費削減により資産処分前で、収支均衡を目指す。

### 3 資金運用活動の実績

平成29年度の日本経済は、日本銀行によるマイナス金利政策及びその後の0%を目標とした長期金利ターゲット政策が継続され、期間10年までの国債はマイナス金利、10年超は若干のプラス金利となっているが、依然超低金

利の状況となっている。

このような金融環境となっているため、本学は、低金利環境が今後2～3年続くと考え、上昇は当面期待せず、引き続き元本の安全を確保し、資金の固定化を回避した運用を行う予定である。

### 4 平成29年度決算の概要

- (1) 平成29年度入試は、家政学部と看護学部で好調を維持し文学部も堅調、短期大学は入学定員未達であった。これにより短期大学の学生数が前年比「△100名」となったが、好調な大学が前年比「+105名」であったため、全体の学生数は前年並みとなった。
- (2) 事業活動収支計算書における教育活動収入は、看護学部の設置3日目及び授業料改定による学生生徒等納付金収入の増加、並びに退職金財団交付金の増加から前年比「+329百万円」となっている。教育活動外収入は前年比「△3百万円」、設備関係補助金である特別収入は今期発生しない。よって、全体の収入である事業活動収入は前年比「326百万円」の増額となった。
- (3) 教育活動支出は、人件費が前年比「147百万円」増加し、教育研究経費が前年比「△90百万円」、管理経費が前年比「△144百万円」となったことにより、全体で「87百万円」の減少となった。なかでも、入試広報戦略見直しによる削減効果が大きい(管理経費)と言える。特別支出では、備品・図書(固定資産)の除却を「4百万円」計上した。その結果、事業活動支出は前年比「85百万円」の減額となった。
- (4) 以上により、基本金組入前当年度収支差額においては前年比「411百万円」の改善となった。当年度収支差額は、基本金組入額の減少により赤字幅が改善している。
- (5) 平成30年度の学生募集は看護学部で好調を維持しているが、研究科及び短期大学の入学者数は依然回復していない。また、文学部において入学者数が入学定員の「1.3倍」を超過したことにより経常費補助金の大幅な減額(95百万円)が想定されることから、平成30年度においても引き続き厳しい収支状況にあると言える。

5 資金収支計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位：百万円）

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,900	4,898	2	人件費支出	3,773	3,772	1
手数料収入	135	135	0	教育研究経費支出	1,111	1,075	36
寄付金収入	15	15	0	管理経費支出	519	512	7
補助金収入	547	547	0	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	900	900	0	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	93	90	3	施設関係支出	58	58	0
受取利息・配当金収入	5	6	△1	設備関係支出	88	88	0
雑収入	298	304	△6	資産運用支出	302	302	0
前受金収入	1,152	1,190	△38	その他の支出	1,302	1,455	△154
その他の収入	1,582	1,787	△205	資金支出調整勘定	△151	△143	△21
資金収入調整勘定	△1,385	△1,352	△33	予備費	27	0	27
前年度繰越支払資金	6,742	6,742	0	次年度繰越支払資金	7,956	8,144	△8
収入の部合計	14,983	15,262	△279	支出の部合計	14,983	15,262	△188

※各表示係数は端数調整を行っており、増減及び縦計が一致しない場合がある。差異＝予算－決算



6 事業活動収支計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位：百万円）

教育活動	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	4,900	4,898	2
		手数料	135	135	0
		寄付金	15	15	0
		経常費等補助金	547	547	0
		付随事業収入	93	90	3
		雑収入	309	316	△6
		教育活動収入計	5,998	6,000	△2
教育活動	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	3,823	3,821	3
		教育研究経費	1,780	1,745	36
		管理経費	581	574	7
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	6,185	6,139	46
教育活動収支差額			△186	△139	△48
教育活動外収支	収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	5	6	△1
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	5	6	△1
教育活動外収支	支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額			5	6	△1
経常収支差額			△181	△133	△48
特別収支	収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	1	1	0
		特別収入計	1	1	0
特別収支	支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	4	4	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	4	4	0
特別収支差額			△3	△3	0
〔予備費〕			30	0	30
基本金組入前当年度収支差額			△214	△136	△78
基本金組入額合計			△144	△139	△5
当年度収支差額			△358	△275	△83
前年度繰越収支差額			△11,521	△11,521	0
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△11,879	△11,795	△83
（参考）					
事業活動収入計			6,005	6,007	△2
事業活動支出計			6,219	6,143	76

※各表示係数は端数調整を行っており、増減及び縦計が一致しない場合がある。差異＝予算－決算

7 活動区分資金収支計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位：百万円）

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	4,898
		手数料収入	1235
		特別寄付金収入	10
		一般寄付金収入	6
		経常費等補助金収入	547
		付随事業収入	89
		雑収入	304
		教育活動資金収入計	5,989
	支出	人件費支出	3,772
		教育研究経費支出	1,075
		管理経費支出	512
教育活動資金支出計		5,359	
差 引		630	
調整勘定等		△22	
教育活動資金収支差額		608	
施設整備等活動資金収支	収入	施設設備補助金収入	0
		施設改善工事引当特定資産取崩収入	300
		施設設備等活動資金収入計	300
	支出	施設関係支出	58
		設備関係支出	88
		施設改善工事引当特定資産繰入収入	300
		施設整備等活動資金支出計	446
差 引		△146	
調整勘定等		0	
施設整備等活動資金収支差額		△146	
小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）			462
その他の活動資金収支	収入	有価証券売却収入	0
		預り金受入収入	1,364
		定期預金解約収入	900
		仮払金回収収入	4
		小計	2,268
		受取利息・配当金収入	6
		その他の活動資金収入計	2,274
	支出	預り金支払支出	1,329
		定期預金繰入支出	0
		仮払金支払支出	4
		その他の活動資金支出	2
小計		1,334	
その他の活動資金支出計		1,334	
差 引		939	
調整勘定等		0	
その他の活動資金収支差額		939	
支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）			1,401
前年度繰越支払資金			6,742
翌年度繰越支払資金			8,143

8 貸借対照表（平成30年3月31日）

（単位：百万円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減	科 目	本年度末	前年度末	増減
固 定 資 産	27,647	29,134	△1,487	固 定 負 債	1,431	1,393	38
有形固定資産	25,471	26,060	△588	長期借入金	0	0	0
土 地	10,421	10,421	0	退職給与引当金	1,431	1,393	38
建 物	11,778	12,326	△547	長期未払金	0	0	0
図 書	2,725	2,696	29	流 動 負 債	1,368	1,281	87
什器備品その他	547	617	△70	短期借入金	0	0	0
特定資産	1,763	1,763	0	前 受 金	1,190	1,150	40
退職給与引当特定資産	1,300	1,300	0	そ の 他	178	131	47
施設改善工事引当特定資産	300	300	0				
その他の特定資産	163	163	0				
その他の固定資産	412	1,311	△899	負債の部合計	2,799	2,674	125
定期預金・有価証券	401	1,301	△900				
電話加入権ほか	11	10	1				
流 動 資 産	8,379	6,903	1,476	純 資 産 の 部			
現金・預金	8,144	6,742	1,401	科 目	本年度末	前年度末	増減
未収入金その他	235	161	75	基本金	45,022	44,682	139
				第1号基本金	44,623	44,283	139
				第2号基本金	0	0	0
				第3号基本金	0	0	0
				第4号基本金	399	399	0
				繰越収支差額	△11,795	△11,521	△275
				翌年度繰越収支差額	△11,795	△11,521	△275
				純資産の部合計	33,227	33,363	△136
資産の部合計	36,026	36,037	△11	負債及び純資産の部合計	36,026	36,037	△11

※各表示係数は端数調整を行っており、増減及び縦計が一致しない場合がある。増減＝本年度－前年度

9 平成 28・29 年度 事業活動収支計算書の主要財務比率

(単位：%)

	比率	算出方法	H28 年 本学比率	H29 年 本学比率	H28 年 全国平均 除医歯法人	評価の考え方
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	64.7	63.6	53.6	低い値が良い
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	78.0	78.0	72.8	低い値が良い
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	32.3	29.1	33.0	高い値が良い
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	12.6	9.6	9.0	低い値が良い
5	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△9.6	△2.3	4.9	高い値が良い
6	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	82.9	81.6	73.7	低い値が良い
7	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.2	0.3	3.0	高い値が良い
8	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	9.7	9.1	12.3	高い値が良い
9	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.7	11.9	11.8	高い値が良い
10	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△9.6	△2.2	4.1	高い値が良い
11	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入}}$	△9.8	△2.3	14.2	高い値が良い

注) 基準改正に伴う新用語及び新・旧 関連の説明

経常収入＝教育活動収入+教育活動外収入

経常支出＝教育活動支出+教育活動外支出

教育活動収入+教育活動外収入+特別収入＝事業活動収入＝旧 帰属収入

教育活動支出+教育活動外支出+特別支出＝事業活動支出＝旧 消費支出

事業活動収入－事業活動支出＝基本金組入前当年度収支差額＝旧 帰属収支差額

教育活動収入+教育活動外収入－(教育活動支出+教育活動外支出)＝経常収支差額・・・新指標

## 10 事業活動収支の経年推移

(単位：千円)

科 目		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	4,936,544	4,795,689	4,791,959	4,708,884	4,897,923
		手数料	134,453	144,319	122,800	121,068	135,319
		寄付金	10,225	15,486	12,565	12,065	15,450
		経常費等補助金	471,604	500,342	539,713	548,800	546,697
		付随事業収入	110,357	107,927	109,174	95,127	89,412
		雑収入	216,301	299,255	203,149	185,535	315,118
		教育活動収入 計	5,879,484	5,863,018	5,779,361	5,671,479	5,999,919
	支出	人件費	3,429,321	3,553,822	3,555,847	3,673,835	3,820,435
		教育研究経費	1,591,180	1,694,905	1,828,516	1,834,636	1,744,880
		管理経費	740,809	826,552	734,370	717,665	573,603
教育活動支出 計		5,761,310	6,075,279	6,118,733	6,226,136	6,138,918	
教育活動収支差額		118,174	△212,261	△339,372	△554,657	△138,999	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	44,683	45,013	39,776	9,042	5,862
		教育活動外収入 計	44,683	45,013	39,776	9,042	5,862
	支出	借入金等利息	3,556	0	0	0	0
		教育活動外支出 計	3,556	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		41,127	45,013	39,776	9,042	5,862
経常収支差額		159,301	△167,248	△299,596	△545,615	△133,137	
特別収支	収入	資産売却差額	8,571	0	37,638	868	1,350
		その他の特別収入	59,131	207,226	27,199	0	0
		特別収入 計	67,702	207,226	64,837	868	1,350
	支出	資産処分差額	9,783	5,170	2,178	1,999	4,179
		特別支出 計	9,783	5,170	2,178	1,999	4,179
特別収支差額		57,919	202,056	62,659	△1,131	△2,829	
基本金組入前当年度収支差額		217,220	34,808	△236,937	△546,746	△135,966	
基本金組入額合計		△1,075,884	△1,811,216	△290,911	△201,826	△138,699	
当年度収支差額		△858,664	△1,776,407	△527,848	△748,572	△274,665	

(参考)

事業活動収入 計	5,991,869	6,115,257	5,883,974	5,681,389	6,007,131
事業活動支出 計	5,774,649	6,080,448	6,120,911	6,228,135	6,143,097

※平成 25 年度～平成 26 年度については、新会計基準の各科目に読み替えて作成

- ・基本金組入前当年度収支差額→旧 帰属収支差額
- ・当年度収支差額→旧 消費収支差額

## 1 1 学校法人会計基準改正に伴う新財務比率表

分類	区 分		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
	比 率	算 式 ( × 100)					
貸借対照表	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	94.9%	98.4%	88.9%	87.3%	83.2%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	91.2%	94.6%	85.5%	83.8%	79.8%
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	331.2%	238.3%	519.6%	538.9%	612.4%
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	377.1%	238.3%	566.7%	586.3%	684.3%
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	7.4%	7.5%	7.0%	7.4%	7.8%
事業活動収支計算書	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	57.9%	60.2%	61.1%	64.7%	63.6%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	26.9%	28.7%	31.4%	32.3%	29.1%
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	12.5%	14.0%	12.6%	12.6%	9.6%
	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.6%	0.6%	△4.0%	△9.6%	△2.3%
	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	83.3%	81.2%	82.3%	82.9%	81.6%
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	8.0%	8.5%	9.3%	9.7%	9.1%
	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	10.6%	10.3%	11.8%	11.7%	11.9%
	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	2.7%	△2.8%	△5.1%	△9.6%	△2.2%
	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入}}$	2.0%	△3.6%	△5.9%	△9.8%	△2.3%

※ 新会計基準における各科目は、以下(旧会計基準)のとおり読み替えて作成

【読替】 純資産→自己資金 負債+純資産→総資金 繰越収支差額→消費収支差額

【読替】 事業活動支出→消費支出 事業活動収入→帰属収入

【新指標】経常収支差額比率、教育活動収支差額比率は、新会計基準により新設された評価指標

経常収入とは、教育活動収入と教育活動外収入の合計額



「自立心・対話力・創造性」  
を培う教育を目指しています

## 学校法人行吉学園

〒650-0046

神戸市中央区港島中町4丁目7-2

Tel :078-303-4712

Fax:078-303-4713